

防災避難訓練

もしもの時を想定し、日頃から準備を

11月8日（水）、「第2回防災避難訓練」が実施されました。この訓練は、避難訓練や避難方法を確認するとともに、災害時の対応力を養うことを目的として実施されました。今回も、常陸大宮市消防本部西消防署より、4名の消防署員をお招きしました。

今回は、調理室で火災が発生したという想定でした。生徒は指示に従い、各教室から落ち着いて避難をしました。

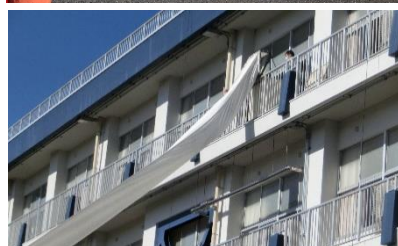
避難後は、3つのコースに分かれて体験活動を行いました。

水消火器を用いた消火器訓練コースでは、「火事だ!」と大きな声で伝えながら、炎のイラストに向かって水をかけ、消火器の正しい使い方を確かめていました。

救助袋体験コースでは、業者の方々から救助袋に関する説明をしていただき、正しい使い方を学びました。その後、各学年の代表生徒が実際に救助袋から避難を行いました。

傷病者対応コースでは、三角巾を使って応急手当の基本を学びました。

避難訓練を終え、生徒からは、「本当に災害が発生したら、落ち着いて行動することは難しいと思うので、日頃からの備えが大切だと思った」「消火器の使い方を教えていただき、普段から覚えておかないと、いざというときに使いこなすのは難しいと感じた」などの感想が寄せられました。



＜ふれあい花壇の整備をしました！！＞

11月29日（水）に明峰中の整備委員と小瀬高校のJRC部員でふれあい花壇の整備を行いました。今回はサルビアを抜き、春に咲くビオラを植える準備です。夏の間に立派に成長したサルビアは根が深くはって抜くことも一苦勞でした。根についた土を払い、ビニール袋に詰めながら互いに協力して活動することができました。両手を真っ黒になしながら短時間で作業しました。

次は12月15日（金）にビオラを植えます。きれいな花壇づくりを通して、明峰中と小瀬高の連携はもちろん、地域の方々とのふれあい、絆をますます深めていきたいですね。

